



胃がん 2023年7月版

Oncologist Fact Report

胃がん患者の治療・情報収集レポート

患者編

株式会社メディカルトリビューン

Gastric cancer '23



東邦大学大学院 消化器外科学教授・臨床腫瘍学教授 島田英昭 先生

近年、胃がん領域では新たな治療薬次々と実用化されており、治療選択肢が増える一方で治療が複雑化しています。患者さんにとっては、治療薬の効果、医療機関の特徴などに関する情報が多岐にわたり、正確に理解することが難しい状況です。また、がん治療の影響から、就労の継続や経済面での問題に不安を抱える患者さんも少なくありません。

本レポートは、胃がんの薬物療法を経験したことがある患者さん300人を対象に、主治医とのコミュニケーションの状況や治療薬に関する情報収集、治療と就労を両立する上で感じている諸問題について調査したデータを主として医師・製薬企業向けに解析したものです。

私自身も日々、胃がん患者さんと接していますが、本レポートは客観的なデータとして患者さんの状況や考えを知ることができ、今後の診療に大いに生かせるものだと思います。新たな治療薬の実用化によって患者さんの生存期間が延長するのに伴い、治療と就労の両立は治療継続の上でもますます重要になってきています。欧米では、がん患者さんやがんサバイバーに対する就労継続のサポート体制が充実していますが、日本の支援体制は十分とはいえません。本レポートでも、精神的不安や就労状況の調整の難しさなど、患者さんは罹患後の就労継続に困難を感じているにもかかわらず、専門的な知識を持つ医療ソーシャルワーカーはほとんど活用されていませんでした。また、最近ではヘルスケアアプリの開発も精力的に行われていますが、本レポートではそれらのアプリの利用率は高くなく、存在することや利用するメリットが分からないといった声が多く見られました。がん患者さん向けアプリも登場していますが、その普及には機能の充実以上に広報活動を丁寧かつ継続的に行う必要があると思います。

胃がんの薬物療法が着実に進展している中で、単に生存期間の延長だけでなく、目の前の患者さんの声に耳を傾け、患者さんが望まれる良質な人生を過ごす時間が延長できるような支援体制を構築するために本レポートを通じて、医療関連企業の皆さまにもご理解、ご協力をいただければ幸いです。

目次

1	調査概要	5
	● 回答者属性	
2	サマリー	9
3	調査結果詳細	
	● 第1部：胃がん患者の実態	
	- 3-1：通院／転院の状況	14
	- 3-2：主治医とのコミュニケーション	19
	- 3-3：薬物療法の状況	22
	- 3-4：就労の状況	29
	● 第2部：胃がん患者の情報収集	
	- 3-5：治療・薬剤に関する情報収集	33
	- 3-6：デジタルヘルスの利用状況	42

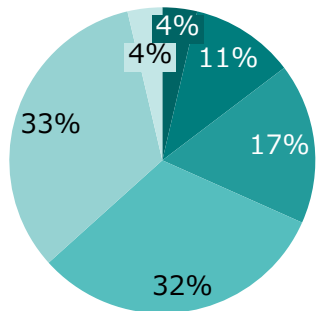
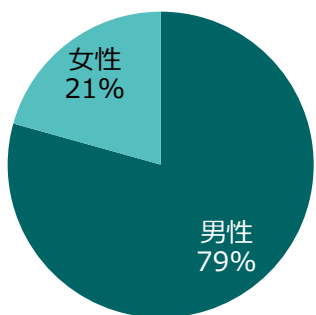
調査概要

調査対象者条件	1. 胃がん薬物療法の経験がある患者 2. 20歳代以上の男女		
標本抽出	一般消費者パネルからのランダム抽出	調査手法	WEBアンケート調査
サンプル数	300ss	調査時期	2023年5月15日～30日 前回調査：2022年4月13日～5月9日

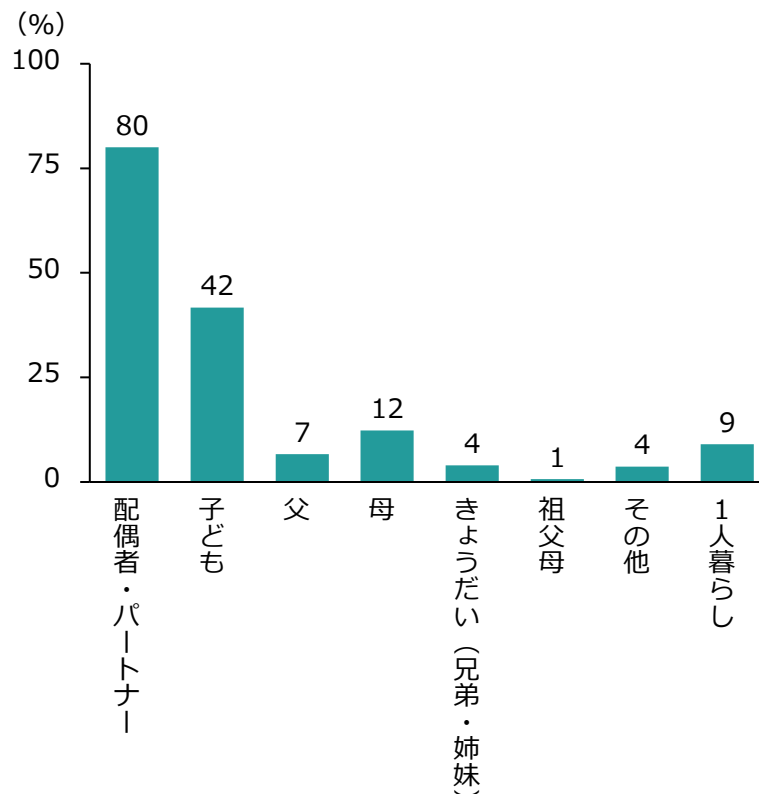
全体

- ✓ 性は男性が79%、年齢は60～70歳代が65%を占めた
- ✓ 既往歴は、高血圧症が23%と最も多く、次いで糖尿病の16%だった

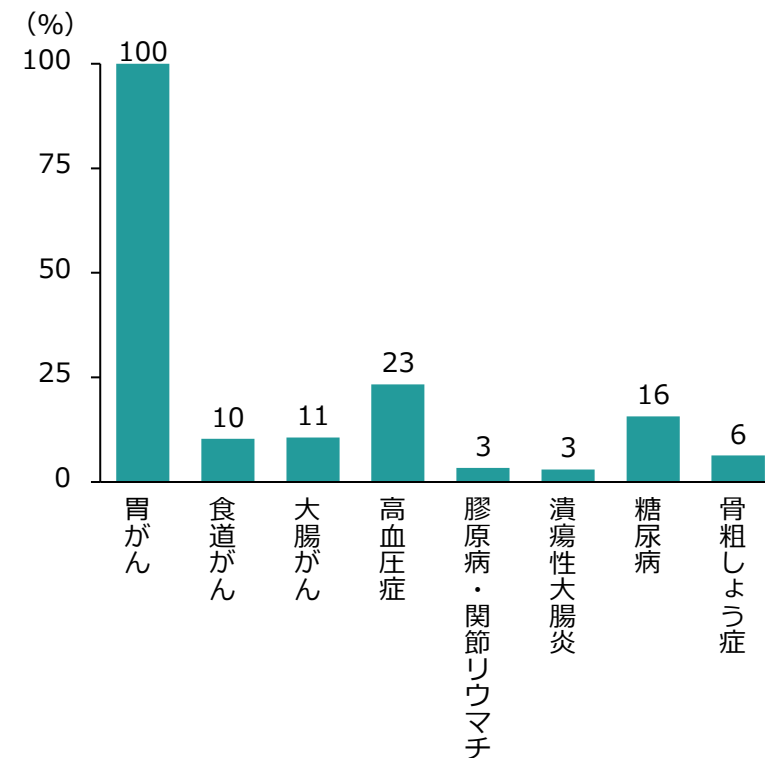
性・年齢層



同居家族



罹患経験がある病気



(n=300)

SQ1.あなたの性別を教えてください。/SQ2.あなたの年齢(世代)を教えてください。

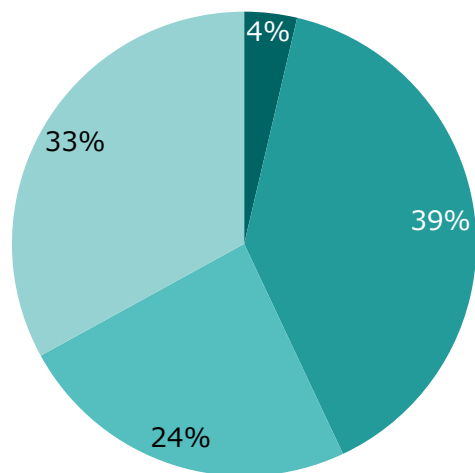
Q20.同居されているご家族を全て選んでください。(MA) /SQ3.あなたが罹患している(罹患していた)病気について、当てはまるものを全て選択してください。(MA)

全体

- ✓ 最初の診断からの経過年数は、1～5年未満が39%で最も多かった
- ✓ 診断時のステージはⅢが30%で最も多く、Ⅳは16%だった
- ✓ 治療経験は、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬がともに9%であった

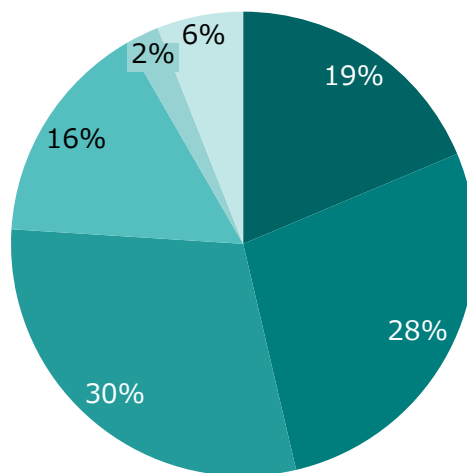
(n=300)

最初の診断からの経過年数



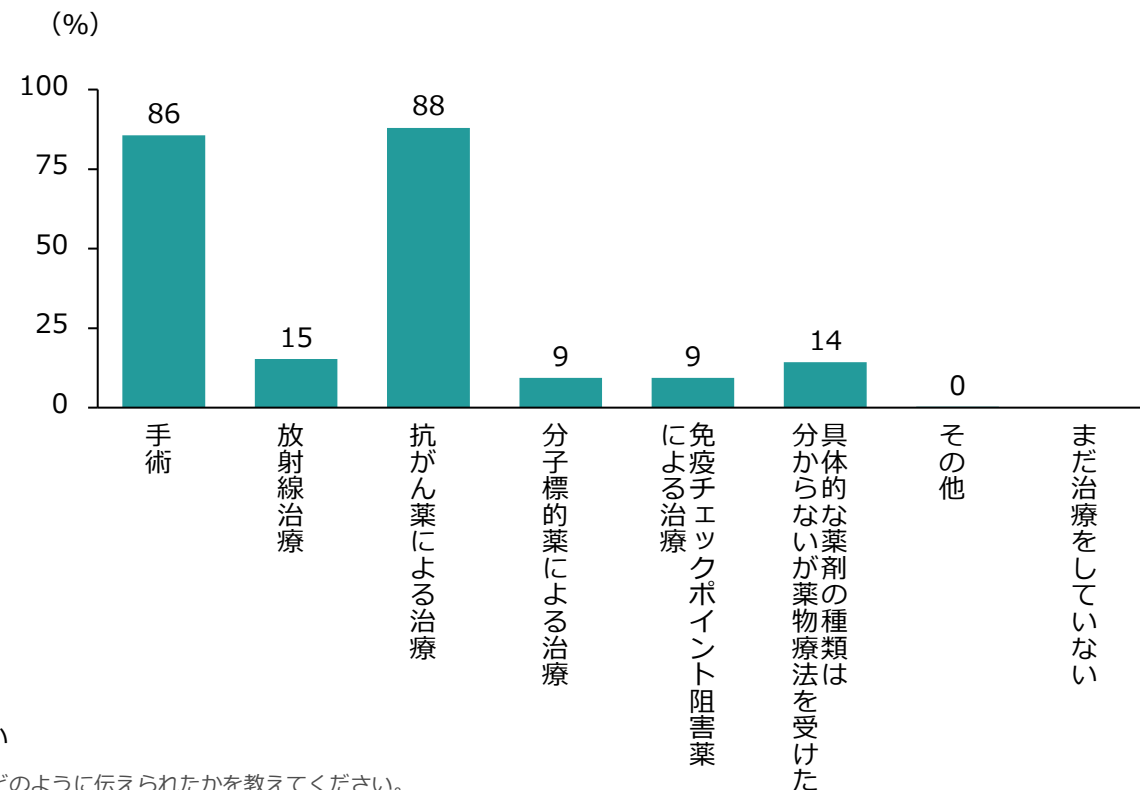
■ 1年未満
■ 1～5年未満
■ 5～10年未満
■ 10年以上
■ 覚えていない

診断時のステージ



■ ステージⅠ
■ ステージⅡ
■ ステージⅢ
■ ステージⅣ／他の臓器への転移あり
■ その他
■ 分からない／状態について伝えられていない

これまでに受けた治療

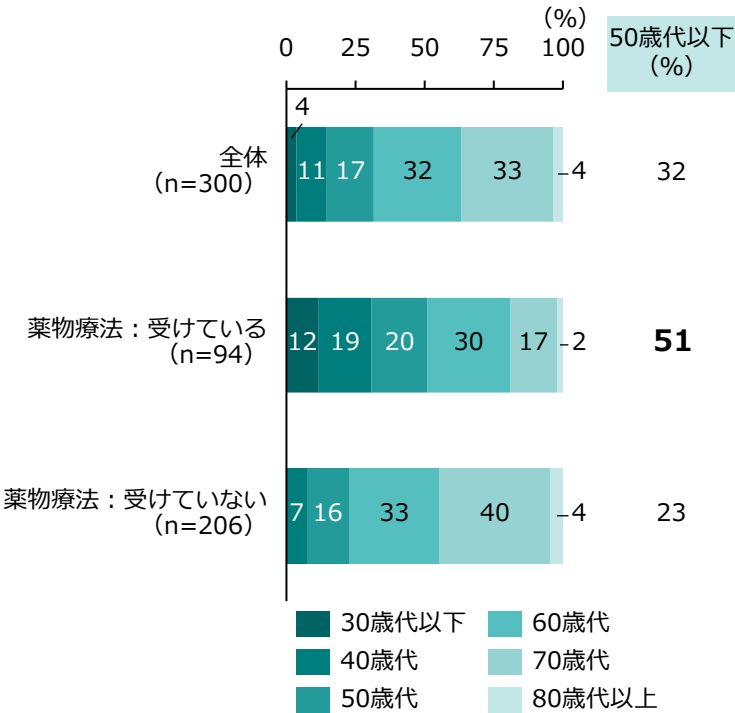


SQ4.初めて胃がんと診断されてからの経過期間を教えてください。／Q1.胃がん診断時のステージまたは状態について、医師からどのように伝えられたかを教えてください。
 SQ5.これまで投与された経験がある薬剤について、当てはまるものを全て教えてください。(MA)

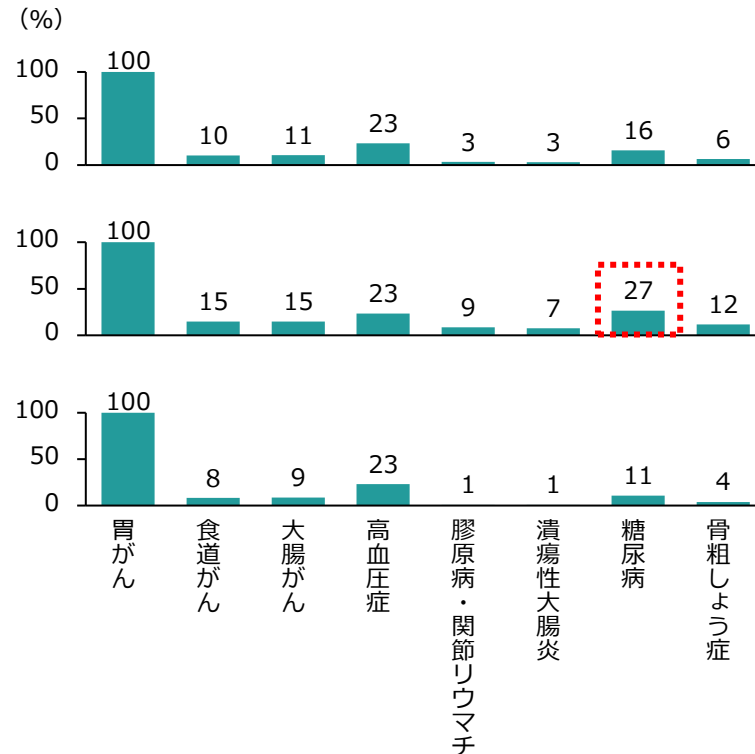
現状の薬物療法の有無別

- ✓ 薬物療法を受けている群は50歳代以下が多く、糖尿病の罹患歴が高かった
- ✓ 薬物療法の内訳は、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬が多かった

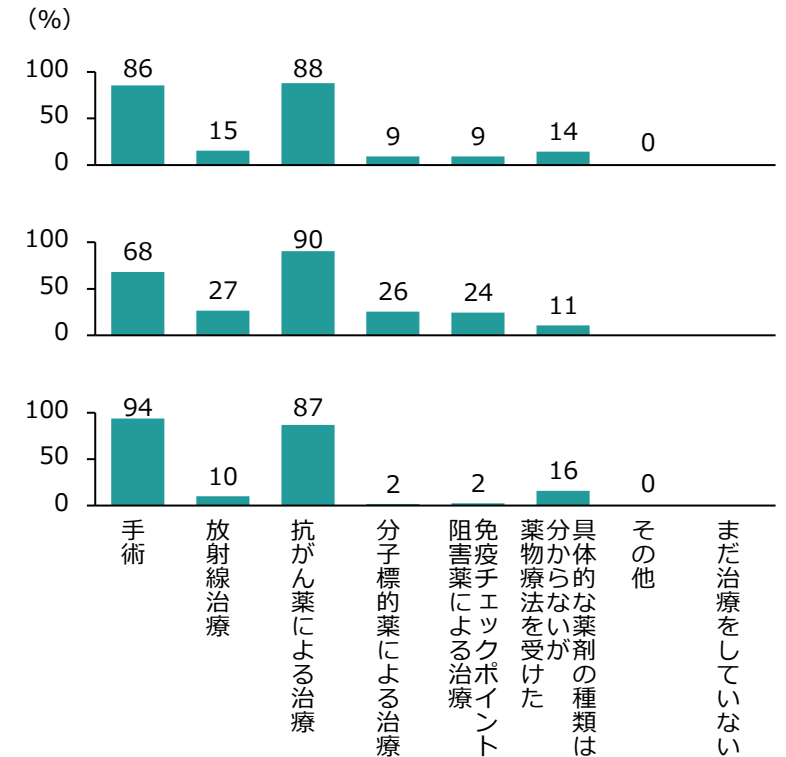
年齢層



罹患経験がある病気



これまでに受けた治療



SQ2.あなたの年齢(世代)を教えてください。/SQ3.あなたが罹患している(罹患していた)病気について、当てはまるものを全て選択してください。(MA)
 SQ5.これまで投与された経験がある薬剤について、当てはまるものを全て教えてください。(MA)



Oncologist Fact Report

胃がん 2023年7月版

医療者とともに

MT MEDICAL
TRIBUNE

CONFIDENTIAL

本資料は、貴社社内関係者のみが使用するものとし、本資料の
いかなる部分についても、株式会社メディカルトリビューンの
事前の書面による承諾を得ずに、回覧・引用・複製、または貴
社外部への配布を禁じる。